

# “選挙タイム”でおしゃべり 班から行動ひろげて

## 大阪・福島支部

### 要求いっぱい、会員大募集!

### しんぶんタイムがカギに

「自民党政治・維新府政を変えない」と要求実現の道は閉ざされたまま「選挙で政治は変えられる」と、新婦人しんぶんでおしゃべりしよう。ゲスト誘って選挙カフェ 班で8回以上の呼びかけに、福島支部は「小組で」「集金時に」「元会員・読者などを訪ねて」と、各班が選挙カフェ目標を達成しながら仲間を迎えています。

各小組ではできる限 生活が大変! 「安心り、しんぶんタイム」して生活できる年金額や「美と平和タイム」の引き上げを「田んぼをなくさないで」「高額療養費の上限額を引き上げないで」と書きつけ、3月からは選挙カフェとして府本部作成の「シールアンケート」や石破首相宛てのジャンボハガキを活用しました。「米が高くて暮らしが大変」「私は介護が心配」「物価高で



「おしゃべりカード」をつかって (5月9日、美くら班プチ・ソーイング小組)

いと会員の大事な時間になっていきます。4月の支部委員会で、「選挙タイムは要求と政治がつながって

いことを実感できる機会になった」「選挙に行こうと話ができたけど、どの政党がどんな態度をとっているのかを知らせることが大事」と出されました。5月からは「選挙に行つてみる?」「推しの政党はある?」「どこで

### いまの政治への怒りがいっぱい

みけねこ班健康麻雀小組では、しんぶん5月17日号「個人的なことは政治的なことだから選挙に行こう」の紙面を広げておしゃべり。「国会で私たちに

関わる法律や税金をどう使うかが決まっています。自分の願いを託せる人や政党はどこかをしっかり考え、投票することは大事やね」と話になりました。

美くら班プチ・ソーイング小組では「消費

税減税の財源」などについて資料を見ながらおしゃべり。消費税の財源では「維新は医療費4兆円の削減と言っているね」「国民民主やれいわのように消費税減税を国債に頼ったから、借金は子どもが

決める?」の3種類の「おしゃべりカード」(府本部作成)を活用して選挙タイムをしています。

背負ってしまおう」「大企業や大金持ちにさまざまな優遇税制があつて税が少なく済んでいる。そこをただそうと

言っているのが共産党やね」など政党の違いを見極めました。



## 訪問看護の現場より

野上栄子(仮名)

「全2回・後編」  
Iさんは84歳の女性。脳梗塞後遺症で要介護5です。50代の息子と猫の「二人」と一匹暮らしで、隔週で入浴サービスを利用して

健康であればほぼ毎日の入浴も、介護状態となれば、隔日だったり、週1〜2回だったり。Iさんのように月2回という人も。Iさんは、訪問介護(ヘルパー)サービスを軸にしながら、介護度の利用料の上限を超えないように利用メニューを決めています。この

### 入浴が月に2回や1回のケースも

先日も息子さんが発熱のことので、キャンセルの連絡を受けました。コロナなど感染が確定したわけではないのですが、入浴の準備(ベッド脇の浴槽にポンプで送るために、ご家族に自宅の浴槽にお湯をためていただく)が難しいとのことでした。準備が難しければこちらでやるのですが、息子さんは自分ができるければキャンセルとしてしまします。1回休むと次の入浴まで4週間もあくことになり

です。健康であればほぼ毎日の入浴も、介護状態となれば、隔日だったり、週1〜2回だったり。Iさんのように月2回という人も。Iさんは、訪問介護(ヘルパー)サービスを軸にしながら、介護度の利用料の上限を超えないように利用メニューを決めています。この

入浴の自費負担は、1割負担の人で12660円。毎週となると利用者にとつては相当の負担で

入浴が月に2回や1回のケースも

入浴の自費負担は、1割負担の人で12660円。毎週となると利用者にとつては相当の負担で

入浴が月に2回や1回のケースも

入浴の自費負担は、1割負担の人で12660円。毎週となると利用者にとつては相当の負担で

入浴が月に2回や1回のケースも

### 主張

昨年衆議院選挙で少数与党となったのに、なんの反省もない自民・公明政権とそれに手を貸す政党によって、戦争する国づくりが進められるなか、国会前や各地で「大軍拡許さない」「選択的夫婦別姓も待てない」と怒りの行動が高まっています。

### 選挙班会・タイム広げ、仲間を迎えてどの班も大きく

7月の参議院選挙は、私たちの願いを実現する政党の議席を増やし、モヤモヤを希望に変えるチャンスです。大手メディアが政局の報道に偏るなか、新婦人しんぶんを使った選挙班会・タイムでおしゃべりし、政党を選択することが、「選挙で変える」

行動につながるカギです。新婦人しんぶん5月17日号「個人的なことは政治的なこと」だから選挙に行こう!」を読み合ひ、おしゃべりが広がっています。大阪・中津支部ごま班の班会では

「消費税10%がきついな」「せめて5%に!年金も低く、物価高で日々の生活が大変!」どの党が国民の声を聞いているのか、しっかり見極めたい」との話に、長崎・佐世保支部のヨガ小組では、「日本

女性たちとの出会いを広げ、選挙タイムでおしゃべり。私との推し」も語り合つて、次世代とともに「要求いっぱい、会員大募集!」と、どの班も仲間を迎えて選挙で変えようというくみましよう。

物価高で暮らしが大変... 政治への怒りが次々

物価高で暮らしが大変... 政治への怒りが次々